

## ネイティブ牛由来プロテインキナーゼA触媒サブユニット

Cat. No. NATE-1889

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** プロテインキナーゼA (PKA) は、ATPの末端リン酸をさまざまなタンパク質基質のスレオニンまたはセリン残基に転送する反応を触媒します。この酵素は、触媒サブユニットと調節サブユニットの2種類のサブユニットで構成されています。cAMPが存在しない場合、2つのサブユニットは互いに結合しており、触媒反応は行われません。cAMPが存在する場合、調節サブユニットはcAMPに結合し、触媒サブユニットが解放されます。cAMPが存在する場合、触媒サブユニットは40,862 Da (アミノ酸配列) のモノマーとして存在しますが、SDS-PAGEでは見かけの分子量は43,000 Daです。

**別名** PKA; cAMP依存性プロテインキナーゼ; ATP:プロテインホスホトランスフェラーゼ (cAMP依存性); プロテインキナーゼA触媒サブユニット; プロテインキナーゼA; PKAC; cAMP依存性プロテインキナーゼ触媒サブユニット; PRKAC

### 製品情報

**種** ウシ

**由来** 牛の心臓

**形態** 約80%のスクロース、19%のリン酸カリウムバッファー、pH 6.7、0.0625%の2-メルカプトエタノール (2-ME)、0.002%のEDTA、0.016%のジチオスレイトール (DTT)、および≤1%のタンパク質を含む溶液から凍結乾燥されました。凍結乾燥された製品には、DTTまたは2-MEの微量が含まれている可能性があります。

**EC番号** EC 2.7.11.11

**活性** >9 ユニット/μg タンパク質

**等電点** 7.01、7.48、および7.78 (3つのアイソザイム)

**最適pH** 7.0-7.8

**単位定義** 1ユニットは、pH 6.5、30 °Cで加水分解され部分的に脱リン酸化されたカゼインに反応して、γ-32P-ATPから1.0ピコモルのリン酸を1分あたり転送します。

### 保管・発送情報

**保存方法** -20°Cで保管してください